

## エコロジー委員会の「省エネ・もったいないチェック」で省エネ展開。

山形県 酒田市立琢成小学校

### 特徴

- エコロジー委員会の活動のひとつとして、月2回の「省エネ・もったいないチェック」を実施。
- 月に1回「エコカルタ大会」を開催している。
- 2月を「省エネ強調月間」として省エネ活動を行った。

### エコロジー委員会が「省エネ・もったいないチェック」を実施。

琢成小学校では、エコロジー委員会の児童が普段から積極的に省エネ活動を実践しています。その取り組みの一つが、月に2回の「省エネ・もったいないチェック」です。エコロジー委員会が各クラスをまわって省エネへの取り組み状況をチェック。その結果を点数にして、一番点数の高いクラスを全校朝会で表彰しています。また、生徒一人ひとりに対しても賞状を作り、クラスで表彰しています。その他にも、以下のような活動を行っています。

- ・月に1回のエコカルタ大会。
- ・子どもたちの遊びの中で省エネの気持ちが出てくるような活動。
- ・休み時間に教室をまわり、教室や廊下、トイレの無駄な電気を消す活動。
- ・長期休みでの省エネカレンダーの実施。



全校朝会での表彰の様子

### 「省エネ強調月間」で、省エネ意識を高める。

冬になると、暖房を使うことが多くなり、省エネへの意識も低くなりがちです。そこで2月を「省エネ強調月間」として、省エネへの意識を高める活動を行いました。無駄な電気を消したり、移動教室などで教室を空ける際に暖房を調整することなどを心がけました。今年は昨年よりも寒

さが厳しく、暖房の使用機会も多かったため、全校で例年以上に省エネを意識して実践できたそうです。

また、総合的な学習の時間では、各学年でエネルギーの授業を行いました。特に、5年生は地球温暖化について勉強し、そこで学んだことは学習新聞やパンフレットとしてまとめ、地球からのメッセージという形にして全校生徒に伝えました。

省エネ強調月間中、子どもたちは自主的に電気を消したり、暖房温度を意識するような行動が見られたそうです。クラスによっては、トイレや図書室に貼り紙をして節電を呼びかけたり、エコカルタを作って遊んだりするなど、各クラス独自の活動も生まれてきました。

これらの活動の結果、2月の電気使用量は6,172kwhになりました。2007年2月の6,537kwhと比べると約6%の削減です。1月も前年比で9%のマイナスですから、強調月間だけ頑張ったというよりも、省エネ活動が普段の学校生活に浸透してきていることをうかがわせます。

琢成小学校では、今後も授業などで省エネ活動の必要性を教えていくと同時に、子どもたちが自主的に省エネを行うような活動をしていくそうです。



琢成小学校

【エネルギー削減率】 13.0%

#### ■プロフィール

所在地:山形県酒田市  
 参加生徒数(学年):266人(1~6年生)  
 省エネ活動について:以前から実践  
 省エネナビ:設置